

第 43 回新潟シティマラソン 2027

大会準備業務（及び大会運営業務）の概要について

1. 大会概要

新潟シティマラソンは、榎谷小路や萬代橋をはじめとする新潟市を象徴する市街地や、信濃川、日本海など「水の都にいがた」を感じることができる豊かな水辺をコースとして開催することで、政令指定都市新潟の魅力を全国に発信するとともに、より一層のスポーツの振興と健康づくりの推進、ランナーやボランティア、応援する市民の一体感の醸成、地域の交流促進に寄与することを目的としている。

また、近年では県外・海外からの参加者も増加しており、市民スポーツイベントとしての役割に加え、多くの来訪者を迎える交流イベントとして、観光振興や地域経済への波及効果、さらには「にいがた 2 キロ」をはじめとする都心軸周辺エリアのにぎわい創出への貢献など、スポーツを通じた都市の活性化を担う大会として、その役割と期待は一層高まっている。

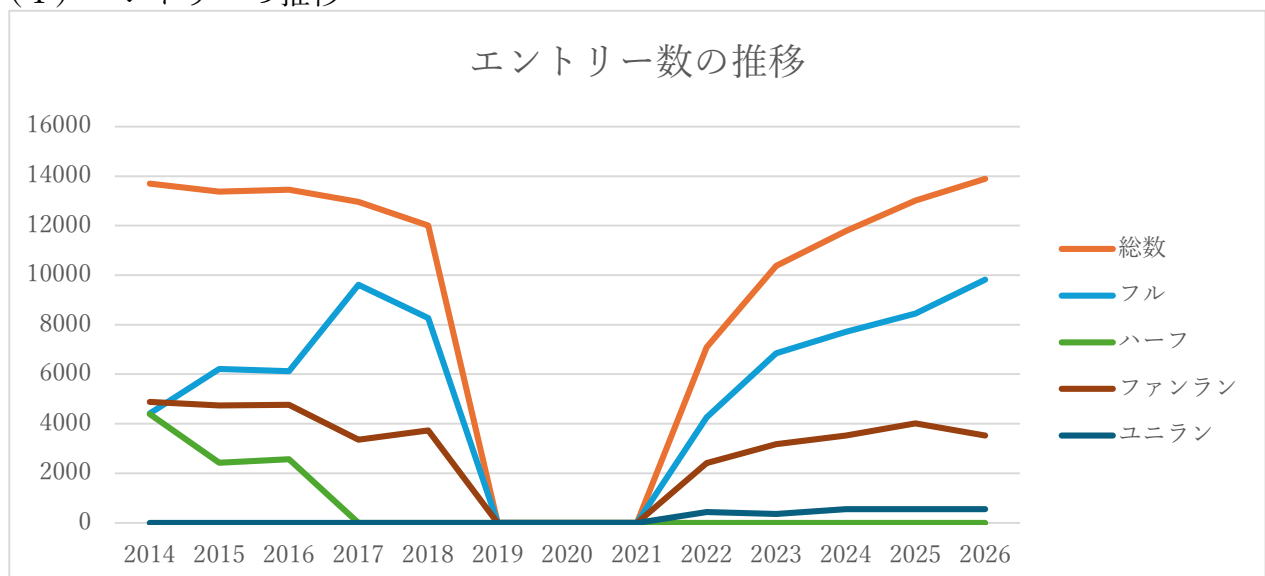
上記大会目的を踏まえ、新潟シティマラソンが将来にわたり、より魅力的で持続性の高い大会となるため、下記の項目を大会コンセプトとする。

- ① **新潟市の魅力発信**
- ② **生涯にわたるスポーツ活動の推進と競技力の向上**
- ③ **ランナー・ボランティア・応援する市民の誰もが主役**
- ④ **交流人口の拡大と観光振興、都心のにぎわい創出による地域経済の活性化**

日程	令和 9 年 10 月 10 日（日）
種目・定員	マラソン（42.195km）：9,000 人 ※一般枠・メディカルランナー優先枠・ふるさと納税枠の設置 ファンラン（10.6km）：3,000 人 ユニバーサルラン（2km/周 周回コース）：400 名
コース	コースマップのとおり

2. 大会実績

（1）エントリーの推移



(2) 地域別エントリー数

		市内	県内	県外	海外	合計
2024	マラソン	3,058	1,610	2,966	73	7,707
	ファンラン	2,242	722	519	41	3,524
	ユニバーサルラン	428	92	36	0	556
	合計	5,728	2,424	3,521	114	11,787
2025	マラソン	3,095	1,784	3,437	132	8,448
	ファンラン	2,408	843	658	108	4,017
	ユニバーサルラン	420	84	47	0	551
	合計	5,923	2,711	4,142	240	13,016

3. 委託業務の内容

第 43 回新潟シティマラソン 2027 大会運営業務の委託についても、本件委託業務受託者と契約を締結する。

また、第 44 回新潟シティマラソン 2028 大会準備・運営に関する業務及び第 45 回新潟シティマラソン 2029 大会準備・運営に関する業務については、公募の手続きを執らずに引き続き随意契約する。

なお、令和 9 年度以降の契約締結については、新潟シティマラソン実行委員会にて当該年度の予算が承認されることを前提とする。

(1) 契約額

11,000,000 円(消費税及び地方消費税を含む)

※金額については後日協議のうえ決定する

◎【参考】2026 大会 総額 217,032,640 円(準備経費含む、内訳は予算書のとおり)

(2) 主な業務内容

令和 9 年 1 月 1 日～3 月 26 日(金)までの契約期間とし、主に以下の業務となる。

(成果品提出の納期限は 3 月 26 日(金)正午とする)

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 大会全般に係る業務 | (12) 広報・PR 業務 |
| (2) 参加者関連業務 | (15) 大会盛り上げ事業 |
| (4) 警備関連業務 | (16) その他 |
| (5) 交通規制関連業務 | |

※詳細な業務内容は仕様書のとおり

※大会運営にかかる業務内容についても仕様書に記載しており、白山エリア施設再編に伴うコース変更が生じた場合の方針検討を含む

4. 企画提案について

(1) 提案における注意点

- ・応募企業名を一切記載しないもの 12 部、明記したもの 1 部用意すること。
- ・「イ 明記が必要事項」を確認の上、記載漏れがないよう注意すること。

(2) 課題・改善したい点や市が期待する提案

- コンセプトに基づく企画
- ランナーの満足度向上とリピーター獲得（エイドの充実など）
- 沿道応援の盛り上げ（みなとトンネル前後及び関屋分水路・信濃川遊歩道）
- 協賛企業の拡大
- 大会後の消費喚起（同日開催イベントとの連携など）
- 市内業者の活用

など

5. 補足事項

(1) 社会貢献活動について

新たに「社会貢献」の取り組みを導入することで、参加者、大会関係者の意識を変え、「マラソン大会の開催・参加が社会貢献活動の一助になる」という、大会開催意義の深化およびブランドイメージ向上による他大会との差別化を図り、持続可能なマラソン大会につなげていく。

【手法】令和 9 年度からニックネームビブスの購入額をランナーが選択する団体に寄付（⇒次年度は、ニックネームビブス購入額は収入に含まれない）

(2) 車椅子の試走について

今大会ではフルマラソンにおける生活用車椅子の出走可否について、試走による調査・検証を行い、将来的な導入の可能性を検討します。なお、導入する場合においても、既存の施設・設備及びコースを活用することを基本とし、車椅子出走のための大規模な設備改修やコース変更は想定していません。